

令和7年度新潟県立図書館運営基本方針 重点目標 に係る意見

- 1 **地域社会への貢献** 全体（今後の取組を含む。）への意見
順調と思われるので、引き続きがんばっていただきたい。
- 2 **県内図書館への貢献** 全体（今後の取組を含む。）への意見
特になし
- 3 **県民の生涯にわたる学びへの貢献** 全体（今後の取組を含む。）への意見
特になし

新潟県立図書館運営全体に対する意見

- ・評価に関わる業務を、もっと簡素化してよいと思います。評価は必要最低限にして、本来業務に資源を投入する方が、県民のためになるかと存じます。毎年、大きく状況が変わるわけではありませんから、外部評価は数年に一度程度で十分ではないでしょうか。
- ・この5年間の資料購入費(電子を除く)の削減率は1/3 となっている。購入費が全国平均を大きく下回る中で、入館者数は全国平均と同等と良く健闘している。また、貸出資料数においては全国平均を上まわっており、これはひとえに県立図書館職員の努力の賜物と思う。しかし現場の努力だけでは限度があり、行政側の理解を得られるような努力も、また必要と考える。
- ・資料費その他の経費削減で大変な中、頑張っていると思う。その割に県民に実態が知られていないことが残念に思われる。図書館ファンとしては削減された財源がどこに回っているのか気になるところです。県には、経費が削減された中で活動している図書館を、広報の面から支援していただきたい。
- ・県全域への利用促進を促してほしい。
- ・市町村立図書館との明確な違いをアピールしてほしい。
- ・県全域の子ども読書推進活動に力を入れてほしい。
- ・読書だけでなく、調べものができる場所としての県立図書館であることを利用者（大人にも子どもにも）にアピールしてほしい。

委員長によるまとめ

資料費が厳しい状況であることや、決して利便性の高い立地ではないにも関わらず、非常に多様な来館サービスや非来館サービスを実施していることや、多くの項目でA評価だったことは、職員の創意工夫の賜物であり、専門性の高い職員がいてこそ成し遂げることができたと考えます。

今後も職員の高い専門性を維持するためには、長期的な人材育成の視点が不可欠です。10年後、20年後の新潟県の生涯教育や社会教育、そして図書館サービスを担う人材の採用や育成も検討していただければと思います。